

1. 先生のご勤務状況について

第 1 問

先生のご勤務先について、次の選択肢から最もあてはまるもの一つに☑をお願いします。

- ☐ 小児科を標榜し、小児の入院病床*がある病院にご勤務
- ☐ 小児科を標榜するが、小児の入院病床*がない病院にご勤務
- ☐ 小児科を標榜しない病院にご勤務
- ☐ 入院病床のない病院等にご勤務（ご開業を含む）
- ☐ その他（ ）

* なお、ここで「小児の入院病床」とは、実際に小児を入院させることのできる病床であれば、加算の有無等を問わずすべて含みます。

差し支えなければ、主たるご勤務先の郵便番号（3 桁あるいは 7 桁）をご記入ください。ご回答の地理的分布を見るために用い、施設を同定するためには利用いたしません。

			—				
--	--	--	---	--	--	--	--

第 2 問

先生は、立会医（警察活動に協力する医師）として何年ご活躍されていますか。次の選択肢から最もあてはまるもの一つに☑をお願いします。

- ☐ 5 年未満（平成 27 年以降に、警察医として仕事をされている）
- ☐ 5 年以上 10 年未満（平成 22 年～26 年から、警察医として仕事をされている）
- ☐ 10 年以上 20 年未満（平成 12 年～21 年から、警察医として仕事をされている）
- ☐ 20 年以上（平成 11 年以前から、警察医として仕事をされている）
- ☐ その他（ ）

2. 先生の死亡診断（死体検案）*の状況について

* なお、ここで「死亡診断（死体検案）」とは、遺族に渡す死亡診断書（死体検案書）を実際に記載しなかった場合でも、死亡の現場に立ち会い、死亡診断（死体検案）などに関する意見を行った場合はすべて含みます。

第 3 問

先生は、現在1年あたりおおよそ何例の死亡診断（死体検案）をされますか。
次の選択肢から最もあてはまるものの一つに☑をお願いします。

- ☐ 死亡診断（死体検案）には携わらない
- ☐ 1 年につき 1 例以下
- ☐ 1 年につき数例（1 桁）程度
- ☐ 1 年につき 10～数十例（2 桁）程度
- ☐ それ以上
- ☐ その他（

ここで「死亡診断（死体検案）には携わらない」とご回答された場合、以後の第４問～第９問へのご回答は不要です。ここまでのご協力まことにありがとうございました。

なお、CDR（チャイルド・デス・レビュー）についてご意見等がありましたら、巻末のご意見欄（自由記載）にもご協力頂けると幸いです。

第4問（死亡診断（死体検案）に携わる場合のみお答えください）

先生は、現在 1 年あたりおおよそ何例の**小児**の死亡診断（死体検案）をされますか。各年齢群につき、選択肢から最もあてはまるものに☑をお願いします。

・乳児（1歳未満）

- ☐ 該当する症例には遭遇したことがない
- ☐ 過去に遭遇したことはあるが、定期的には経験しない
- ☐ おおむね定期的に遭遇するが、1年につき1例以下
- ☐ 1年につき数例（1桁）程度
- ☐ それ以上
- ☐ その他（

3. 先生が死亡診断（死体検案）された症例に関する記録*について

* なお、ここで「記録」とは、診療録等の公的な記録に加え、あとから振り返って見ることのできる私的な記録（ご自身の日記など）も含みます。

ただし、**事後に先生ご自身が記載内容の検索等ができなくなる場合は含みません**
(診断書、証明書、鑑定書等を発行したあと、原本あるいは写しを手元に残さない
場合など)。

第5問（死亡診断（死体検案）に携わる場合のみお答えください）

先生は、ご自身の死亡診断（死体検案）された症例について記録を残しておられますか。次の選択肢から最もあてはまるものに☑をお願いします。

- ☐ 記録を一切残さない
- ☐ **例数のみ**記録に残している
- ☐ なんらかの記録（メモ、考察、死因など）を**残す例もある**
- （記録をする例の選択基準： _____）
- ☐ **全例で**、なんらかの記録（メモ、考察、死因など）を残す
- ☐ その他（ _____）

第6問（第5問で「なんらかの記録を残す（例もある）」とご回答いただいた場合のみお答えください）

先生は今後、公的な* CDR 事業のために記録等のご提供をお願いした場合に、対応は可能でしょうか。次の選択肢からあてはまるものに ☒ をお願いします。

- ☐ おおむね**可能**であろう
- ☐ 警察等から**許可を得れば可能**であろう
- ☐ 今後、一定の**様式などが提示**されれば可能であろう
- ☐ 情報の**一部であれば可能**であろう
- ☐ 先生の**個人的な意見を述べる**ことは可能であろう
- ☐ 警察等の許可いかんにかかわらず対応**できない****であろう。
- ☐ 分からない / 判断できない
- ☐ その他（ ）

*「公的な」とは、行政（愛知県等）による事業をご想定ください。

****「対応できない」とご回答の場合のみ、そうご判断された理由をお教えてください。**

- ☐ 最低限の記録しか残さないため
- ☐ 業務が過重のため
- ☐ 手続きが面倒なため
- ☐ 必要性がわからないため
- ☐ その他（

4. 剖検（司法解剖，調査法（新法）解剖，行政解剖等）について

第7問（死亡診断（死体検案）に携わる場合のみお答えください）

先生は、死亡診断（死体検案）に臨まれた際、剖検の可否について概ねどのように考えられますか。次の選択肢からあてはまるもの**全て**に☑をお願いします。

- ☐ **可及的に全例で剖検するべきと考える**
- ☐ **遺族が求める**場合には、剖検するべきと考える
- ☐ 遺族の求めの有無にかかわらず、剖検を考慮するべきと考える
- ☐ **警察捜査のため必要**な場合であれば、剖検するべきと考える
- ☐ 捜査上の必要の有無とは別に、剖検を考慮してもよいと考える
- ☐ **医学的に**少しでも不審な点があれば、剖検するべきと考える
- ☐ **医学的に相応に不審**を感じた場合には、剖検するべきと考える
- ☐ 医学的に**不審な点がなかったとしても**、剖検に意義があると考え
- ☐ **死亡状況に**少しでも不審な点があれば、剖検するべきと考える
- ☐ **死亡状況に相応に不審**を感じた場合には、剖検するべきと考える
- ☐ 年齢層（例：乳児例すべて等）によって、剖検の必要度は異なると考える
- ☐ **合理的な診断が可能であれば**、剖検の必要性を感じない
- ☐ 剖検に、実施に見合う意義があるように**感じられない**
- ☐ 剖検の要否について**判断する立場にない**
- ☐ その他（ ）

第 8 問（死亡診断（死体検案）に携わる場合のみお答えください）

その他、**子ども**の死亡診断（死体検案）に関して、お困りのことやご提案、ご意見などありましたら、自由にご記載ください。

5. 新型コロナウイルス感染症の流行による影響について

第 9 問（死亡診断（死体検案）に携わる場合のみお答えください）

現在の新型コロナウイルス感染症（Covid-19）の流行によって、死亡診断（死体検案）に何らかの影響がありますか。次の選択肢からあてはまるものに☑をお願いします。また、その理由など、ご意見を自由にご記載ください。

- ☐ 影響は全く感じられない
- ☐ 多少は影響を感じる
- ☐ 非常に大きく影響されている

その理由など（自由記載）

6. CDR（チャイルド・デス・レビュー）についてご意見や、お知りになりたいことなどあれば、自由にご記載ください。

ご多忙の中、調査にご協力くださいましてありがとうございました。

ご郵送いただいた資料は、個人を同定する情報が含まれない匿名情報であることを十分確認のうえ、愛知県医師会および厚生労働科学研究班で責任をもって集計し、愛知県における業務改善および、厚生労働省の推進する「チャイルド・デス・レビュー」制度設計のための基礎資料として活用させていただきます。